

【平成30年7月豪雨災害義援金】受付中 平成30年12月31日頃まで

日本赤十字社では、被災者に対する義援金を下記のとおり受け付けています。お寄せいただいた義援金は全額を被災地にお届けいたします。

三井住友銀行 すずらん支店(普)2787545
 三菱UFJ銀行 やまびこ支店(普)2105538
 みずほ銀行 クマガイ支店(普)0620405

※口座名義はいずれも「日本赤十字社」 ※ご利用の金融機関によっては、振込手数料が別途かかる場合があります
 ※受領証希望の場合は下記連絡先までお願いします

問合せ先：日本赤十字社義援金担当窓口 ☎03-3437-7081

小園地藏堂 地域の文化財を守るために

保存会が屋根など修復



外観周りを修繕

「東光山延命寺」という海老名の国分寺の隠居寺だったといわれている。会は地藏堂の保存と認知度向上を目的に、地域住民が昨年組織した。発足以来、大きな課題の一つとなっていたのが建物の老朽化だった。1972(昭和47)年の大改修から46年が経過し、一部雨漏りなどが見られるように。堂内に保存されている貴重な仏像等への影響が危惧されていた。そこで保存会では、今年度の総会で雨漏りの修復修理とトイレの改修を決定。4月中旬に地元工務店に依頼し、全体の傷み具合の調査を行った。結果は屋根の一部に穴があき、棟の土台の木が腐り、外壁や窓の面格子まで錆が浸食するなど、想定以上の傷み具合だった。費用はこれまでに貯めた会の予算で賄ったが、今回は外観の修復に絞って工事をやったという。「本当は、人が集まる地藏堂としていざという時に活用できる災害トイレにしたかったが、今回は断念した」と、

小園地藏堂保存会が、同地藏堂の大幅改修を行った。堂内に収められている仏像保護の大きな課題となっていた雨漏りを直すため、屋根や外壁、漆喰、扉などを修繕。6月19日に工事が完了し、このほど会員へのお披露目が行われた。

斉藤武夫副会長は話す。方針について積極的な意見が出るなど、組織自体が活気づいている同会。今後は管理のため堂内に収められているもののリスタ化を進めるなど、さらなる運営体制強化を図っていく。「市民に親しま



お披露目式に参加した会員

消防体験2018年

今年も自由参加形式に

「消防体験2018」が7月20日(金)、市消防本部庁舎と訓練場で開催される。午前10時から午後3時。参加無料。消防職員と市民のふれあいの場にするだけでなく、消防の仕事を経験することで理解を深め、火災予防の意識啓発を図る取り組み。例年は応募制だったが、誰でも自由に参加できる形式に変更した。当日は消防車の放水やロープ渡り、心肺蘇生体験を実施するほか、小学生1~6年を対象にしたほしこ車乗車体験(抽選)、写真撮影コーナーも。消防車両展示では、米海軍日本管区司令部消防隊車両の展示も予定している。

高校生が市内3企業見学

意欲向上と進路決定の一助に

横浜市の県立田奈高校クリエティブスクール生徒11人が6月27日、市内のノーブル電子工業(株)、㈱栄和産業、(有)光製作所の3企業を訪問した。



ノーブル電子(上)と栄和産業での見学の様子



学生らは各社の代表から説明を受け、ものづくりの現場に肌で触れながら学んだ。同校がキャリア支援教育の一環として行う職場見学「咲サクWALK」として行われた工場見学。市が実施する「工業施設」や「ワークアドバイザー」のワーカープロジェクトを務める野坂浩美さんが、田奈高校のスクールキャリアアカウンセラーを務めていた縁で打診を受け、初めて受け入れを行った。普段は見ることができないものづくりの現場に触れることで生徒の学習意欲向上と進路決定の参考にしてもらうとともに、見学を通じた企業PRで早い段階から就業PRで早い段階から就



光製作所で作業体験

職の選択肢として提示することができるなど、学校と市双方にメリットがある取り組みとなる。この日はノーブル電子の土橋恒一社長や栄和産業の伊藤正貴社長、光製作所の丸山裕司社長らが企業理念、会社の歴史、製品、仕事への思いなどを熱弁。それぞれの企業の現場も見て回った。最後の光製作所では作業体験も行われ、生徒らは真剣な表情で挑戦した。

キズ・ヘコ

激安なのに知



技術も保証付

激安に加え見事な技術と対応のよさで、困った時に非常に頼りになるのが「相光石油㈱」。その秘密は、ガソリンスタンドの特徴を活かした企業努力と、最新技術の導入により可能にした「ドア1枚2万5千円」という価格。安さだけでなく、仕上がりの美しさ、施工時間も短く即対応の